



稲田 孔 議員

問 改定介護保険制度で三月の当初予算に出される当町の事業内容について、以下の点を問う。
1. 町の総合支援事業の計画はあるのか。
2. 要支援など軽度の利用者が従来のサービス提供を受ける事ができるのか。
3. 地域支援事業は介護給付金の財源内でサービス提供が受けられるのか。
4. 介護職員の一部医療行為解禁で不安はないか。

巨大地震がいつ起こっても不思議ではない現状から町独自でも速やかに検討を始める事が必要だ。以下の点につき町の見解を問う。
1. 地震・防災等の研究

問 専門の人材の配置を

答 保健福祉部長
1. 総合支援事業は実施しません。当面は従来の体制でいきます。
2. 受給者が増え、小規模特別養護老人ホームの運営開始で、いずれは引き上げになります。
3. 現状の体制でも、総合的なサービスを提供することができています。
4. 不安を抱えたまま強制的に介護職員が行うものではありません。

問 原発事故の避難訓練を

答 今の職員で対応します 町長
1. 今後も専門家を招いて講演会などを開催致します。
2. 全職員が防災に必要な知識や実技を身につけ、今の職員で対応していきます。

大規模な原発事故が発生した場合の町民の避難について以下の点を問う。
1. 事故が発生した場合には、電力事業者に対して迅速かつ公正な情

報提供を求めることができるか。
2. 避難の方法や場所など、他の災害とは異なる訓練や対応が必要では。
3. ヨウ素剤などを備蓄し関係機関との連携体制が必要では。

答 防災計画に反映させます 町長

県と自治体との協議会で出された方針に基づいてできるだけ早く町の防災計画の見直し作業に取り掛かっています。
1. 平成23年11月から県内の全市町に対してファックスや担当者へのメール送信により24時間体制で情報伝達できるように改善されました。
2. 地域防災計画に盛り込んで住民への啓発を含め、防災訓練、活動に反映していきます。
3. 甲状腺被ばくを避けるための防護措置が必要な地域には安定ヨウ素剤の備蓄なども考え

問 西古泉・筒井線の見直しを

高、全戸配布の防災カードにも放射能の基本的対策が明記され、脱原発・自然エネルギーにはできるだけ取り組みます。

答 現在協議中です 町長

大型商業施設周辺の通学路の交通安全に関する要望2点につき問う。
1. 筒井・徳丸線玉生神社南から松前公園への西古泉・筒井線への計画の見直しを進めるが、路線の見直しを含め関係機関と協議中です。
2. 工事費の負担要請は考えていません。



「変則的」筒井東踏切

A.Q. 安心な介護保険制度を 総合支援事業計画はありません